

防 除 情 報

長崎県病虫害防除所長

平成19年度病虫害発生予察 防除情報第12号

野菜・花き類 ハスモンヨトウ

ハスモンヨトウの発生が一部の作物で多くなっていますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 9月下旬の巡回調査の結果、発生状況は次の通りである。
 - ア レタスにおける発生圃場率は30.0%（平成9.9%）、寄生株率は2.4%（平成0.4%）と多い発生であった（図1，2）。
 - イ いちご（本圃）における発生圃場率は65.4%（平成66.1%）、被害株率は6.4%（平成9.3%）と平成並であった。
 - ウ ブロッコリーにおける発生圃場率は58.3%、寄生株率は15.3%であった。
 - エ ばれいしょにおけるヨトウムシ類（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、ヨトウムシ）の調査では、食害発生圃場率は44.4%（平成25.3%）、被害株率は4.3%（平成2.9%）とやや多い発生であった（図3，4）。
- (2) 10月上旬の県予察圃場（無防除）における調査の結果、本虫の寄生株率はレタスで72%、ブロッコリーで74%であった。
- (3) 病虫害防除員による調査報告では、ばれいしょ、いちご及びきくにおいて並～多の発生である。また、アブラナ科野菜やたまねぎ等で多発圃場が認められている。
- (4) フェロモントラップにおける誘殺数は、前年および平成に比べて並もしくはやや少ない傾向である（図5，6）。
- (5) 9月28日付福岡管区気象台発表の気象予報によると、九州北部の向こう1か月の気温は高い見込みであり本虫の発生に好適である。

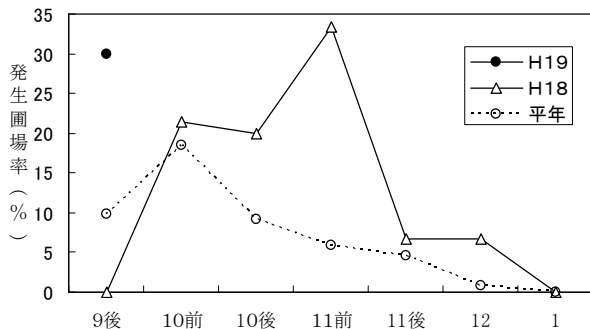


図1 レタス ハスモンヨトウ発生圃場率の推移(巡回調査)

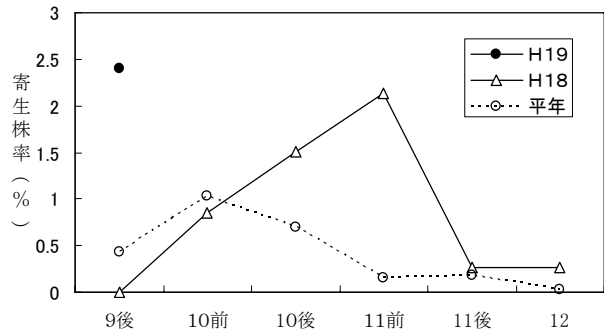


図2 レタス ハスモンヨトウ寄生株率の推移(巡回調査)

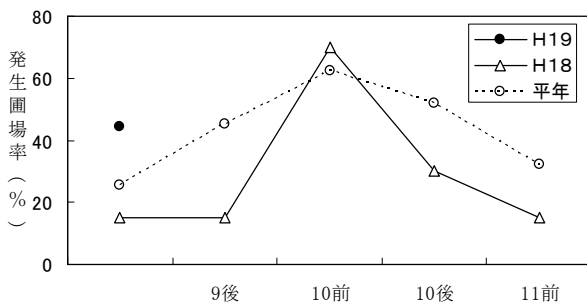


図3 ばれいしょヨトウムシ類発生圃場率の推移(巡回調査)

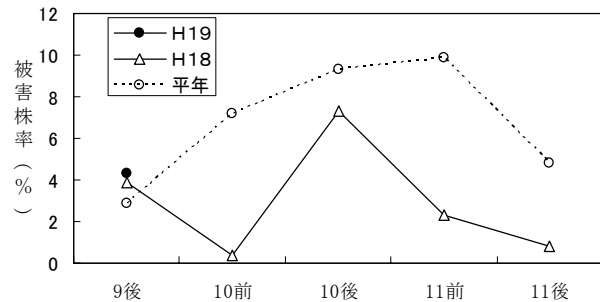


図4 ばれいしょヨトウムシ類被害株率の推移(巡回調査)

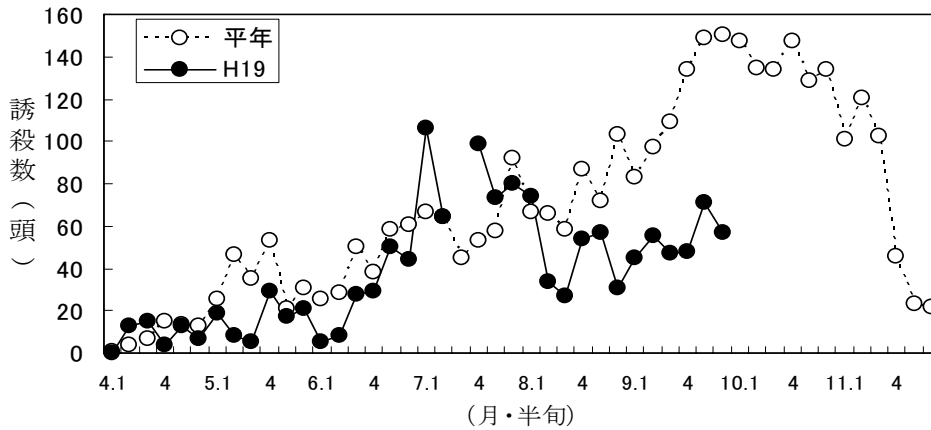


図5 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市)
 平年:H9~H18の平均値(最大・小値除く)

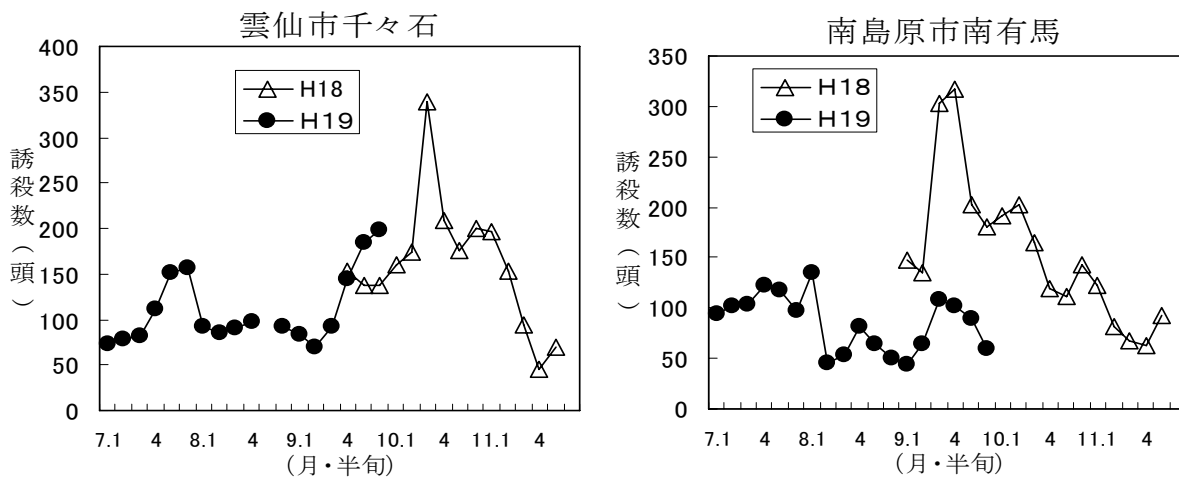


図6 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況

注1)原則7日ごとの調査結果を、1日当たり誘殺数に換算後、半月ごとに合計。
 注2)雲仙市千々石、南島原市南有馬とも、平成18年9月から調査を開始した。

2. 防除対策

- (1)老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、圃場をよく観察して早期発見、早期防除に努める(薬剤は県防除基準を参照)。
- (2)薬剤は、散布ムラの無いよう丁寧に散布する。

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpjn.ne.jp/nagasaki/>

○「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム(一部会員制) アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>) やその他の情報を閲覧することができます。

○この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL:0957-26-0027, Eメール：kngs0301@sp.jpjn.ne.jp